



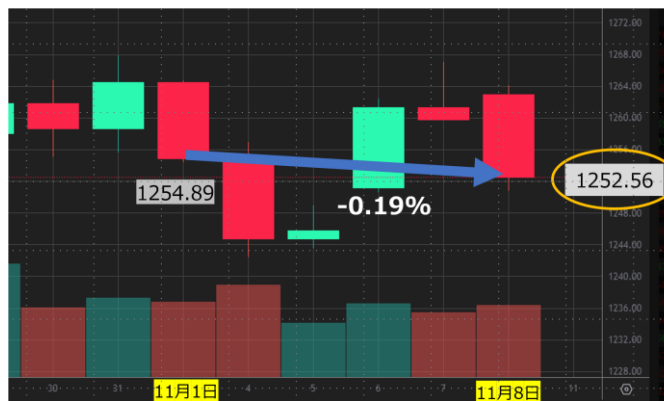
※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2024年11月11日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 11/1-11/8)



	週間	月間	YTD
VN指数	-0.19%	-0.94%	10.85%
VN30指数	-0.62%	-1.59%	16.43%
VN中型株指数	0.60%	-0.40%	8.76%
VN小型株指数	0.93%	0.36%	2.90%

先週のVN指数は1,254.89ポイントから1,252.56ポイントへと小幅な下落となりました。先週はベトナム中央銀行が市中からの資金吸収に動いたことで下落して始まりました。週半ばには米大統領選でトランプ前大統領の優位が伝わると米中対立が意識され、中国事業リスクの分散拠点としてベトナムが恩恵を受けるとの見方などから反発しました。しかし、その後はトランプ氏が掲げる政策の不透明感などから反落し、週間では横ばい圏での推移となりました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-0.62%と反落いたしました。一方、中型株指数が+0.60%と反発しました。また、小型株指数が+0.93%と続伸しております。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	0.40%	-0.58%	3.38%

通貨ベトナムドンにつきましては、米大統領選でトランプ前大統領の当選が確実となる中、米国の財政悪化やインフレ再燃への懸念などから米長期金利が上昇し、米ドルに対して軟調な推移となりました。一方、ドル円相場は、週末には米連邦準備理事会が0.25%の利下げを決めたことで円安進行にブレーキがかかりましたが、週間ではドル高・円安となりました。ベトナムドンは円に対して+0.40%と上昇を続けております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	-0.8%	素材	1.1%
不動産	0.1%	公益事業	0.0%
生活必需品	-0.7%	エネルギー	0.2%
一般消費財	-0.1%	情報技術	1.1%
資本財	1.0%	ヘルスケア	-0.3%

セクター別にみますと、4セクターが下落いたしました。左上の金融が-0.8%と反落しました。左真ん中の生活必需品が-0.7%と続落しております。一方、右上の素材が+1.1%、右下から2番目の情報技術が+1.1%と上昇を続けております。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
バオ・ベト・ホールディングス（金融） [BVH]	+3.6%
ベトナムゴム工業グループ（素材） [GVR]	+1.9%
ホアファットグループ（素材） [HPG]	+1.7%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
ビンホームズ（不動産） [VHM]	▲3.6%
ベトナム繁栄商業銀行（金融） [VPB]	▲3.2%
マサングループ（生活必需品） [MSN]	▲3.0%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが+3.6%、ベトナムゴム工業グループが+1.9%、鉄鋼大手のホアファットグループが+1.7%と、それぞれ続伸しております。一方、下落銘柄は不動産開発大手のビンホームズが-3.6%と下落を続けました。また、大手民間銀行のベトナム繁栄商業銀行が-3.2%と反落し、複合企業のマサングループが-3.0%と続落いたしました。

VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は横ばい圏で推移いたしました。マクロ経済面では、10月の輸出が前年同月比10.1%増と2桁成長を続けるなど、底堅さを見せております。また、7～9月期の企業業績は前年同期比で堅調な増益を示しております。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10.4倍と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上